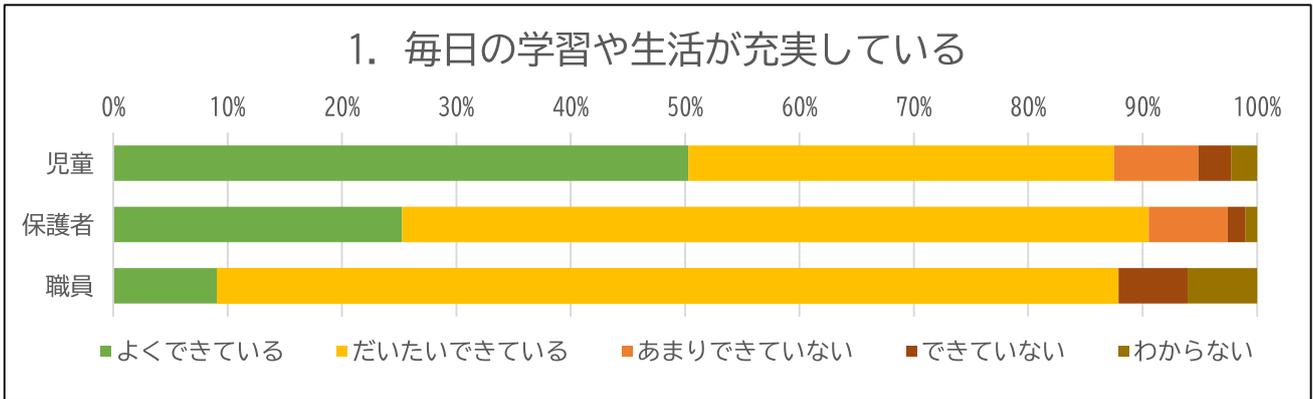


令和7年度学校評価アンケートのまとめ

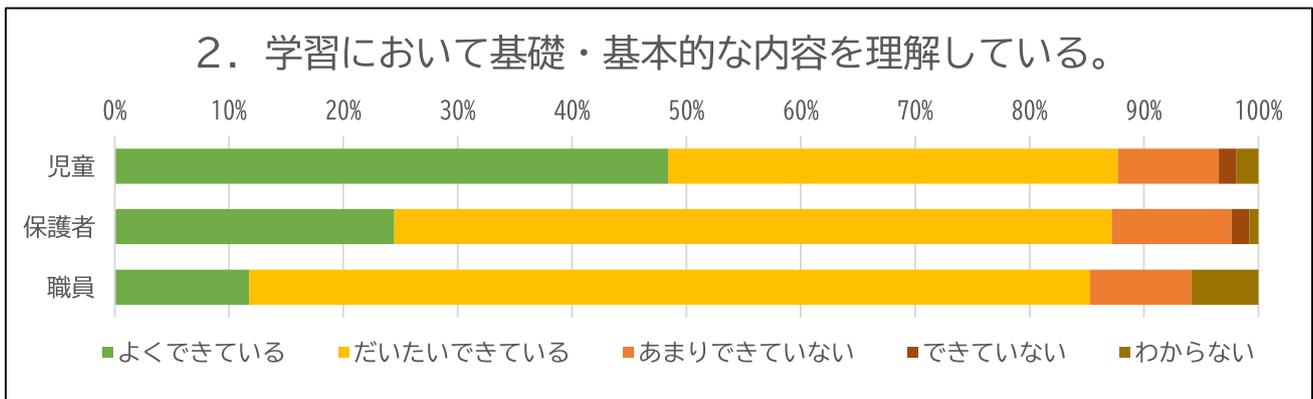
(※意見等については、主なものを要約、抜粋しています。)

保護者意見 … 保 職員意見 … 職 学校関係者評価 … 評 考察・回答 … 考

1 学校アンケート質問項目から



考 肯定的な回答(よくできている、できている)をした児童が87%に達しています。生活科や総合的な学習における体験的な学習、地域の自然や地域の人との関わりを題材にした学習、異学年との交流等、児童が主体的に学習に参加できるよう、学習活動の工夫に引き続き取り組んでいきます。一方、1割超の児童は学校があまり楽しくないと感じています。毎学期に行っているアンケートや教育相談を通じて、一人一人の困り感を把握するとともに、相談窓口について児童に周知してまいります。



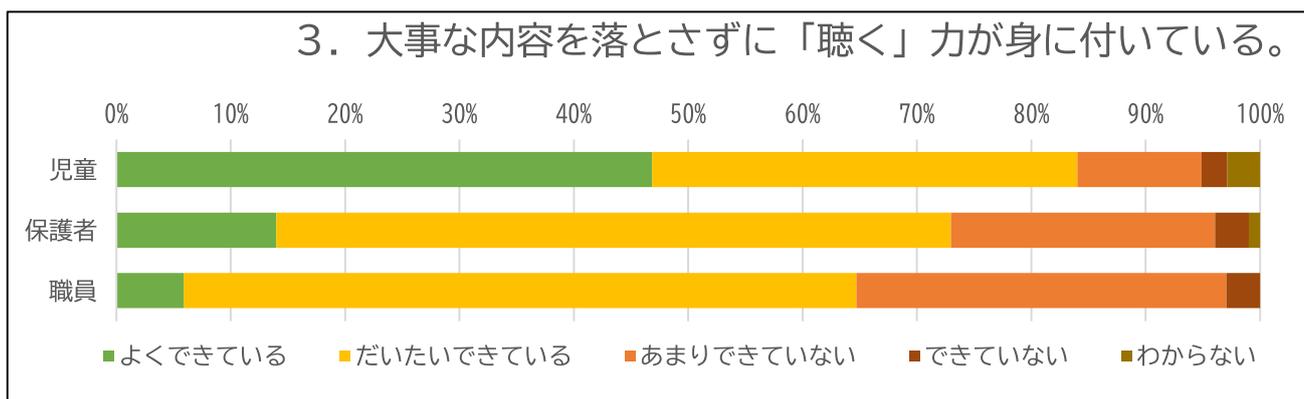
考 86.5%の児童、84.2%の保護者が肯定的な回答をしています。令和7年4月に、6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査では、国語・算数・理科のいずれの教科でも全国平均を上回りました。

職 今年度は、3年生以上の学年で、2学期より教科担任制を導入しました。学年内で教科の担当を設け、担任が授業を交換することで、専門性の高い授業を展開することをねらいとしています。職員からは、多くの職員が目で児童の学習の様子や課題を見とることができた、授業準備の負担が軽減したとの意見がありました。

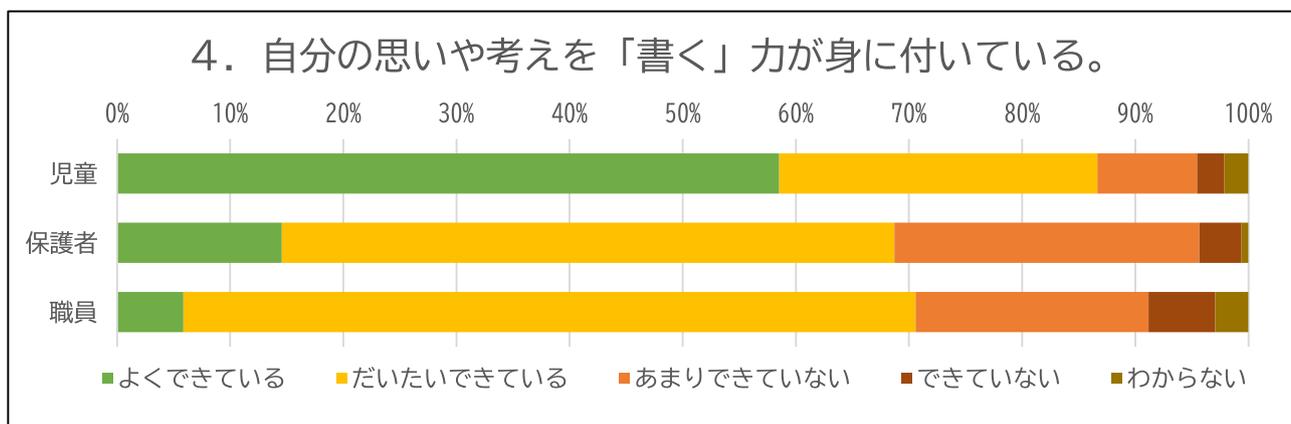
評 教科担任制は児童の中に浸透しており、スムーズに行われている、落ち着いて授業を受ける環境が整っている、との御意見をいただきました。

保 教科担任制について保護者への説明が十分でなかったとの御意見をいただきました。次年度以降は、導入の時期を検討したうえで、児童や保護者の方への説明を丁寧に行ってまいります。

保 短縮日課が多く、授業時数が少ないのではないかと不安の声がありました。各学年、各教科の授業時数、授業内容がカリキュラムの通り実施していることを確認しておりますので、御安心ください。

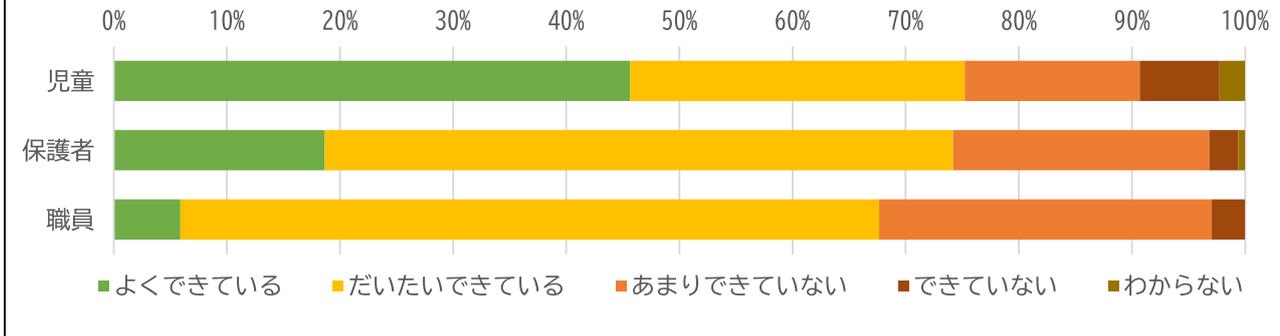


考 肯定的な回答をした児童の割合は84%でしたが、保護者、職員の回答と大きな差異が見られました。よい聴き方について、児童に分かるように指導できていないことが考えられます。学習中だけでなく学校生活全体において、「話し手に目と耳と心に向けて聴く」「最後まで聴く」等、具体的な姿を示しながら全てのクラスで聴くことの指導に取り組んでまいります。



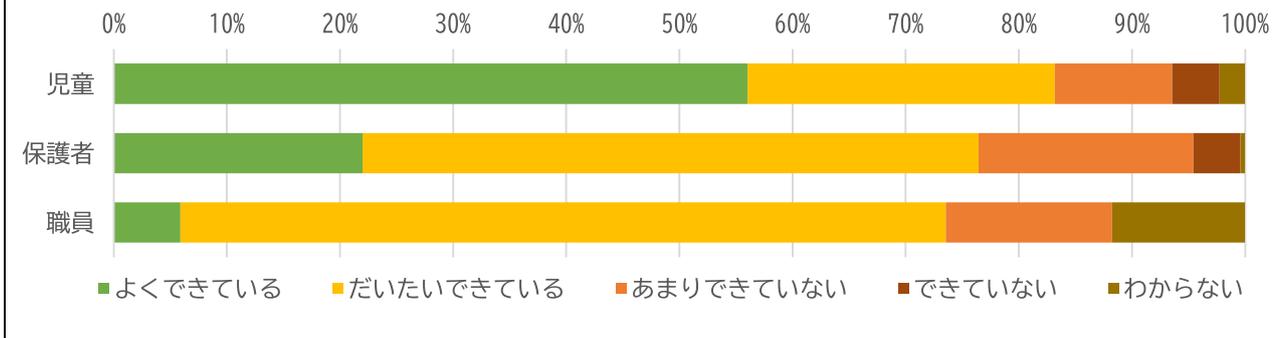
考 児童の肯定的な回答は86.7%で、昨年度よりわずかに上昇しました。第6学年が令和7年4月に行った全国学力・学習状況調査の結果を分析すると、昨年度まで課題であった「書くこと」の評価に改善が見られました。自分の考えや、学習の振り返りを書くことに、学校全体で取り組んだことの成果が表れていることが考えられます。一人一人の児童の実態に応じて、書く力をどのようにして高めていくかを、学校全体で検討してまいります。

5. 自分の思いや考えを「話す」力が身に付いている。



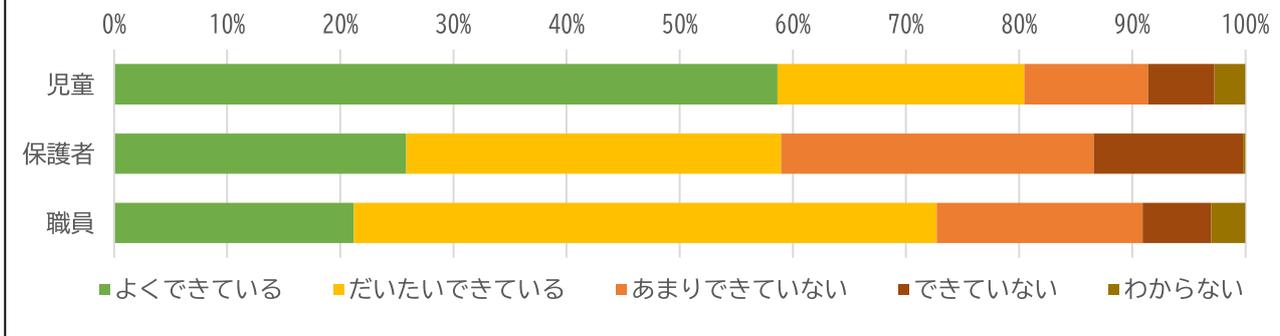
考 児童の肯定的回答は75.4%で、昨年度の62.4%から大きく向上しました。本校では研究教科である生活科・社会科において、友達や教師、異学年の児童や地域の方等との「対話」の場面を位置付けています。他者との関わりを通して、考えを広げたり深めたりできるよう、支援の在り方を工夫していきます。

6. 学校や家庭で学習に取り組む習慣が身に付いている。



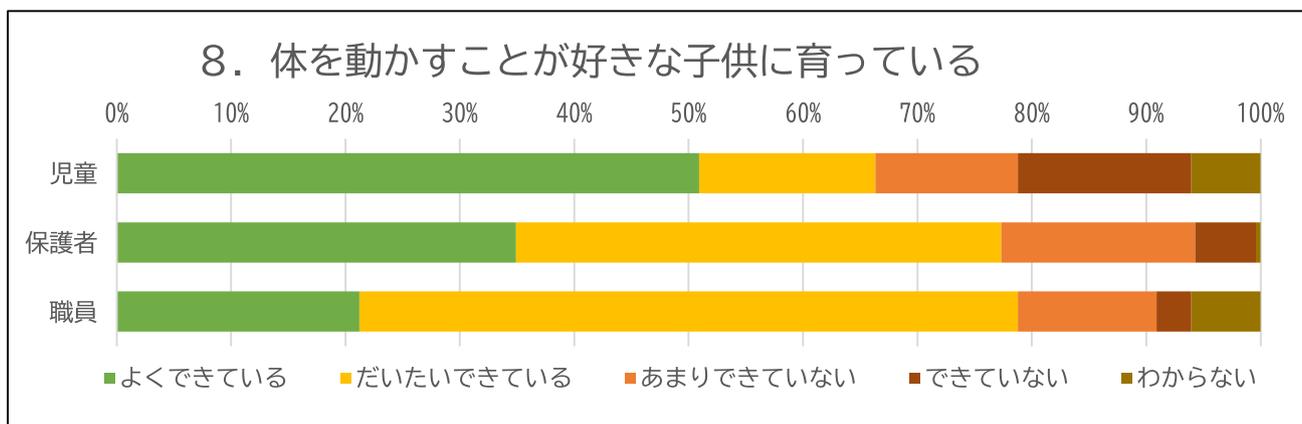
考 83.2%の児童が、自分自身が学校や家で学習をがんばっていると捉えています。
保 教科書が学校にあるため学習内容が分からない、家庭で取り組める学習内容を教えてほしいとの御意見がありました。タブレット端末を活用し、家庭でも取り組める学習方法を検討し、児童や保護者の方に周知していきます。

7. 読書が好きなお子に育てている。



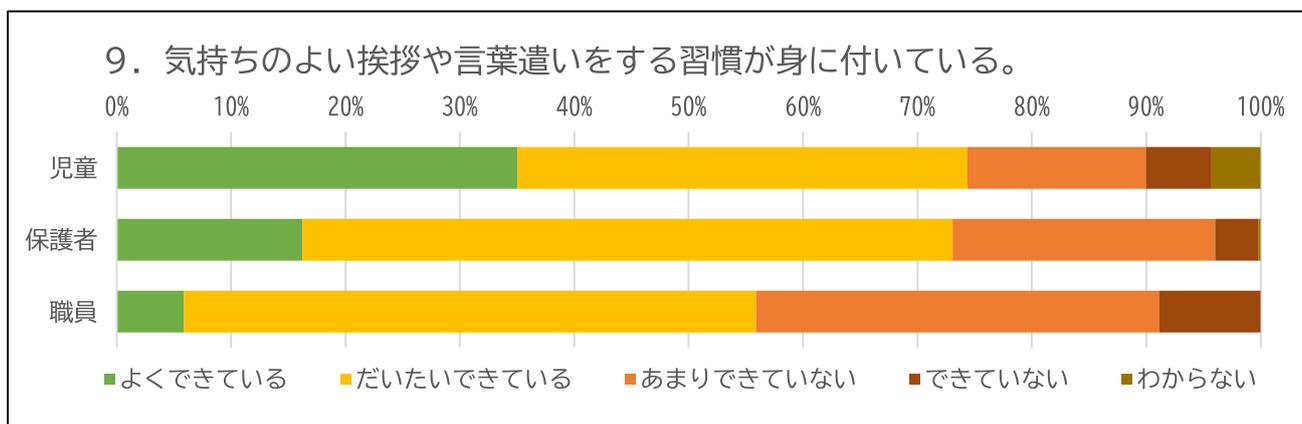
考 80%以上の児童が読書が好きだと回答しています。一方、保護者の肯定的回答が最も低く、20%

もの差がつく結果となりました。学校では、2～6年生に「朝読書タイム」を設定しているほか、各クラスに週1時間、図書室を使用できる時間があります。また、地域の読み聞かせボランティア「お話ポケット」の皆さんによるお話会を、学期に1度、全クラスで実施し、おすすめの本の紹介を行っています。タブレット端末で利用できる習志野市の電子図書館「ナラシド♪ライブラリー」の活用など、御家庭でできる取り組みについて周知してまいります。



考 本校の自慢でもある広い校庭で、元気に体を動かす児童が多く見られます。児童の肯定的な回答の割合は保護者、職員と比べると低いですが、昨年度より4%ほど増えました。1学期に実施した体力テストでは、上体起こしとシャトルランの結果が全国平均と比べて高い一方で、握力とソフトボール投げが課題であることが分かりました。

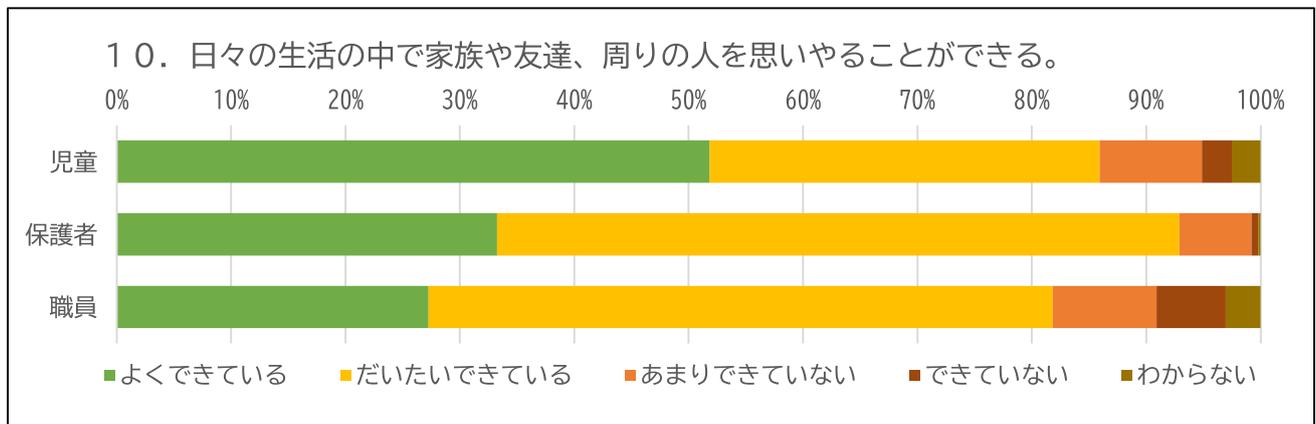
➡体育の学習での継続的な取り組みとともに、遊びを通してバランスよく体力を向上させられるよう、取り組んでまいります。



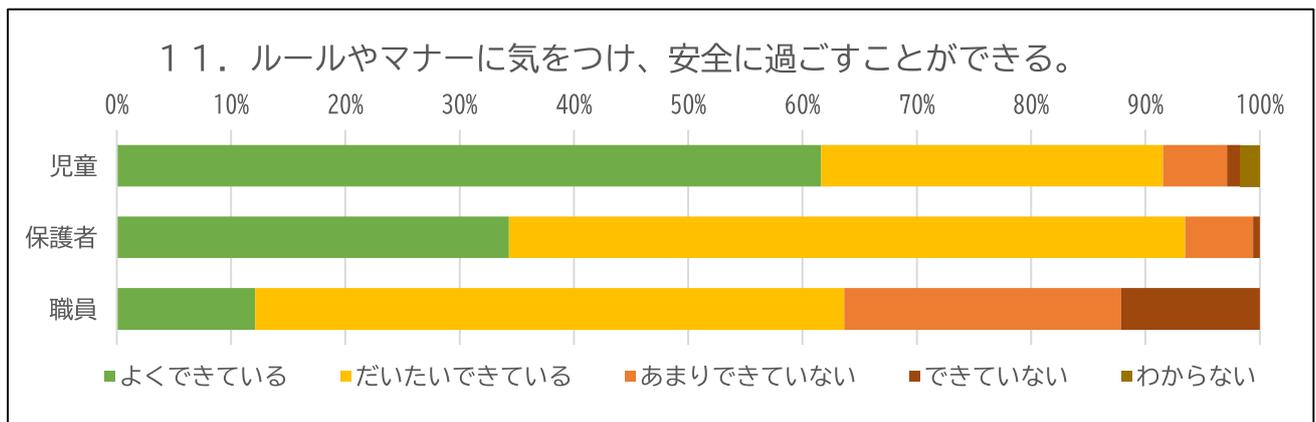
考 年間を通して、挨拶を重点的に指導しました。各学級での指導のほか、児童による朝の挨拶運動により、年度始めに比べると、自分から明るい声で友達や職員に挨拶する児童が増えています。今年度は、心の教育のため、「心のこもった美しい言葉」で話すことを指導してきました。児童だけでなく、職員も言葉遣いに気を付けることで、児童と職員とのよりよい関係づくり、いじめの未然防止に繋がられるようにしていきます。

【評】「正しい言葉」ではなく、「美しい言葉」としているところに良さがある。児童に「美しい言葉」「美しくない言葉」をどのように指導しているのか。

➡ 相手の名前を「さん」付けで呼ぶ、人が聞いて嫌な気持ちになる言葉は使わない、誰が聞いても分かるように易しい日本語で話す等、児童の発達段階に応じて指導を行っています。



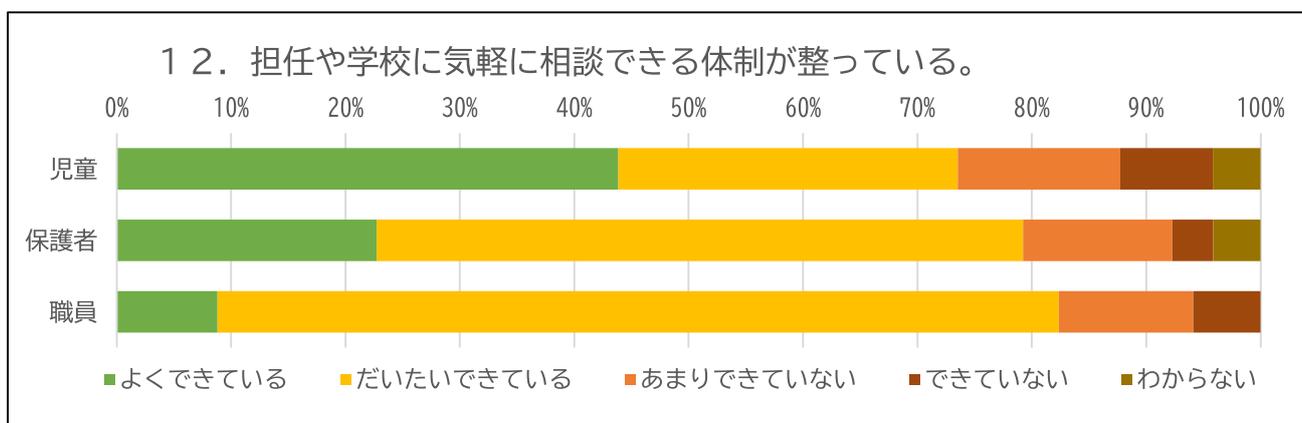
【考】 他者の気持ちを理解し、思いやりの心をもって接することについては、日常的な指導の中のほか、道徳の学習で指導しています。学習した内容を自分事としてとらえ、相手の心を想像したり、自分の生活を振り返ったりすることで、思いやりの心を育てています。また、年間を通して縦割り清掃や、1年生と保育所の年長児との交流活動、SNS の使い方指導に取り組んでいます。様々な相手との交流を通して他者との違いを理解し、人権意識の土台を身に付けられるように指導していきます。



【考】 児童・保護者と、職員との意識の差が大きい結果となりました。バス通学の児童については、安全整理員が同乗し、車内やバス停～学校間の見守りを行っています。時折、車内が騒がしくなることがあり、一般の利用者の方から御指摘をいただくことがあります。

➡ マナーについては、年間を通して指導していますが、すぐに改善しないことがあります。道徳の学習を通して、一緒に乗車している方の気持ちを考えさせるなど、発達段階に合わせて日常的に指導を行っています。1年生を対象に4月に実施しているバスの乗り方教室や、交通安全教室等について

ては、学校だよりでお知らせしています。その趣旨を御理解いただき、御家庭でも交通安全についての声掛けをお願いします。

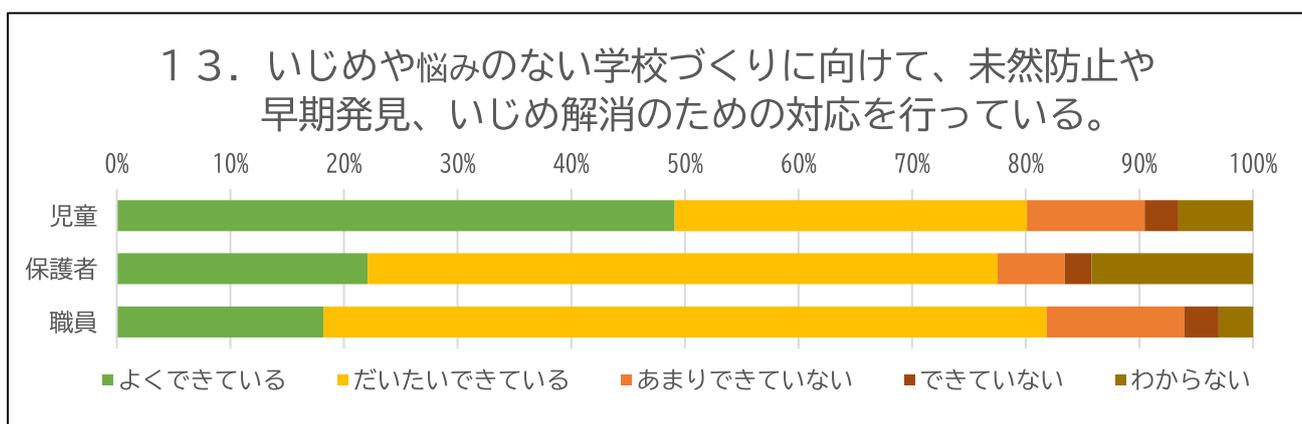


保 職員と児童との関わりについて、よくできているという意見とともに、お子さんが担任にあまり話を聞いてもらえていないと感じているという御意見がありました。

職 大きな行事が集中し、子供と関わる時間を確保することが難しかったという意見がありました。

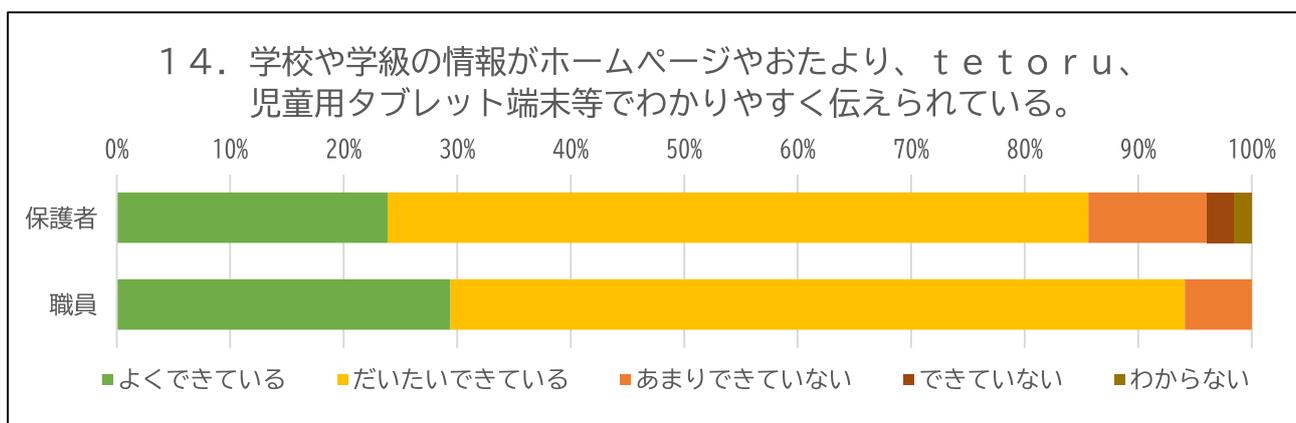
考 昨年度と比較し、児童(−5.4%)・保護者(−8.9%)・職員(−14.8%)と、肯定的回答が減少しています。また、保護者・職員の肯定的な回答に対して、児童の肯定的な回答がやや低くなっています。このことを真摯に受け止め、改善を図っていきます。

- ➡ ・職員の言葉遣いや態度、指導の仕方を児童はよく見ていることを再認識し、児童が気軽に相談できるような雰囲気常に心掛けてまいります。
- ・年間行事を見直し、ゆとりをもって指導にあたるようにします。
- ・担任以外にもスクールカウンセラー、教育相談員、養護教諭など、学校にいる職員誰にでも相談してよいことを、改めて児童に周知していきます。



考 肯定的な回答が高い一方、「わからない」という回答が多いことが分かります。習志野市の学校では、「いじめに関するアンケート」(記名式・無記名式)を学期に1回実施し、保護者の方に確認していただいたうえで、担任が児童一人一人と面談を行っています。「先生あのねアンケート」「ハラスメントに関する調査」を実施することで、友達に関する悩みだけでなく、家族や職員等に関する事など、

様々な困り感の把握に努めています。子供一人一人から話を聞く時間を確保し、職員間で共有することで、早期発見に努めています。また、項目10でも触れたように、学校教育全体で思いやりの心を育てることで、未然防止にも取り組んでいきます。

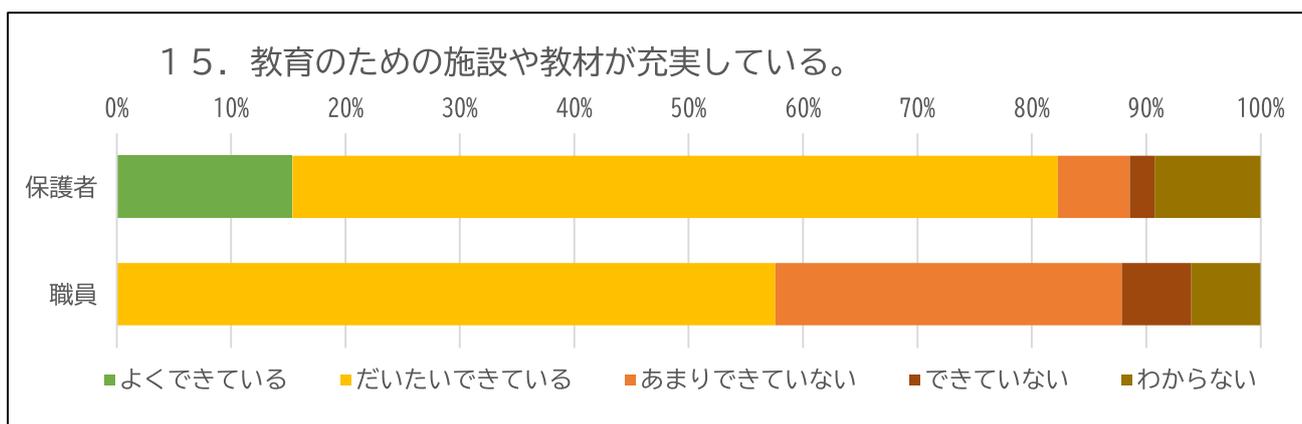


保 主に以下の御意見をいただきました。

- ・学級閉鎖の連絡が入るが、どんな感染症が流行っているか教えてほしい。(多数)
- ・手紙類について、teturu と紙の両方で配布されると分かりにくい。
- ・チラシ等が多く、どの情報が重要なのかがわかりにくい。
- ・週プログラムが配信されるクラスとされないクラスがあるので統一してほしい。
- ・保護者が参加する行事を年間計画で分かりやすくしてほしい。
- ・日々の持ち物について、すぐに用意できないものは、土日を含んでなるべく早めに案内してほしい。
- ・文具についてフェルトペンの種類、書き方鉛筆の濃さ、ノートのマス目等、何を用意すればよいか、分かりやすい資料がほしい。
- ・teturu に質疑応答ができない。
- ・両親で共有できる連絡帳アプリがほしい。

考 ペーパーレス化を推進するため、学校からのお知らせについては、原則 teturu を使って配信しています。行事の参加承諾書、各団体から配付されるチラシ等、紙で配布しなければならないものは最小限にし、分かりやすい情報発信に努めてまいります。

- ➡感染症の流行時には、学級閉鎖のクラスだけでなく全校の保護者向けに、学級閉鎖や感染症の流行の傾向周知するようにしました。
- ・市教育委員会や公民館等からのお知らせについては、学校を介さず直接 teturu で配信されることになりました。連絡画面上、アイコンで区別できます。
- ・持ち物については学年だより、連絡帳で早めに家庭に伝えるようにします。



考 令和8年1月より、体育館の空調設備が使用できるようになりました。行事や講演会等で使用するほか、暑い時期には冷房機能を使用して、安全かつ快適に運動できるようにしていきます。

2 行事関連

職 行事全般について

運動会、公開研究会、40周年行事等、大きな行事が2学期に集中したことにより、児童と向き合う時間が十分に確保できなかった。

保 行事全般について

- ・仕事の調整のため、1カ月前には日程を周知してほしい。(複数)
- ・大きな行事はオンライン配信があるとうれしい。
- ・行事は必要だが、子供にとっても職員にとっても準備や練習で忙しすぎるのではないか。
 - ➡・運動会を2学期開催から1学期開催へと変更し、余裕をもって学校運営を行えるようにします。
 - ・行事の周知の時期について、見直してまいります。

保 運動会について

<種目について>

- ・子供たちが楽しそうで、一生懸命でうれしかった。
- ・ダンスと徒競走以外の種目も増やしてほしい。…綱引きや玉入れ、大玉転がしなど(多数)
- ・コロナの影響で運動会らしい種目を経験していないので、させてあげたい。

<会場について>

- ・昨年度と比べて保護者の観覧場所が増えてよかった。
- ・運動会のダンスが遠くて見つらなかった。(複数)
- ・ダンスや競技中の音楽が聞こえづらかった。(複数)
- ・折り畳み椅子を全面使用禁止にされるのは辛い。一部でも使用可能エリアがあるとよい。
- ・オアシスシートについて、席数が少なく高齢の方が立ち見になる場面が多く見られた。
- ・オアシスシートはもう少しトラックに近づけてくれるとうれしい。

<その他>

- ・運動会で 1000 個の風船を空に飛ばしたが、環境への影響が気になった。姉妹都市のブリスベンでは 2023 年より法律で禁止されている。どうして風船を飛ばすことにしたのか、誰も疑義を唱えるものはいなかったのか。

- 考
- ・児童数が年々増加していることに加え、バス通学の児童を安全に下校させる必要があることから、学年の種目を表現運動と個人種目に絞り、昼食を食べて下校という形をとっております。令和7年度は、会場全体で楽しめるよう PTA 玉入れをプログラムに入れました。本校特有の事情はありますが、児童にとって楽しく、達成感のあるプログラムになるよう、検討を重ねます。
 - ・今年度は、入れ替え制の撮影エリア、オアシスシート（優先席）を新たに設けました。マナーを守って観覧していただき、ありがとうございました。観覧席と児童との距離については、競技中の児童の安全を第一に考えたうえで、検討してまいります。
 - ・40周年記念の思い出として、児童と保護者の方地域の方が集まる運動会でのバルーンリリースイベントを企画しました。業者との打ち合わせを行い、自然環境で分解される天然ゴムを原料とした風船を使用することを確認した上で実施しました。事前の説明ができておらず、御心配をおかけすることとなり、申し訳ありませんでした。
- ➡昨年度の反省に基づき、音響設備の見直しを図りましたが、音が小さかったという御意見を多くいただきました。スピーカーの位置や向き等を調整し、会場全体をカバーできるよう改善します。

3 タブレット端末・ICT 関連

- 保
- タブレット端末について、非常に多くの意見をいただきました。特に多かった意見について以下に整理しました。
- ・タブレットが重く、毎日持ち帰るのが負担である。安全面、体への負担が心配。（多数）
 - ・持ち帰りの頻度を減らすことはできないか。
 - ・タブレットを授業や家庭学習有効に活用してほしい。（複数）
 - ・タブレットを使った宿題を出してほしい。
 - ・家庭での活用方法を教えてほしい。
 - ・学級によって使用頻度に差があると感じる。
 - ・端末の動作が重い。立ち上がりが遅い。
 - ・修理に時間がかかる。
 - ・担任の先生によってタブレットの使用頻度に差がある。
 - ・子供が Youtube を見られることが心配。
 - ・教科書を学校に置いているため、今どんな内容を学習しているのかが分からず、躓いた教科を教えることが難しい。教科書の電子書籍がタブレットで見られるようになれば便利になる。

考・市内の小中学校において、タブレット端末が新しいものに更新されました。スペックや耐久性が向上したほか、ディスプレイやキーボードが大きくなり使用しやすくなりました。重量は280gほど重くなりました。

- ➡・持ち帰りの負担軽減のため、家庭学習に必要な最低限の教材以外は学校に置いておきます。
- ・充電のために持ち帰りは必要となりますが、児童に負担がかからないよう、低学年の児童については、週に1～2回程度端末を持ち帰らない日を設定します。
- ・令和8年度より、学習アプリ「ミライシード」の「ドリルパーク」と「テストパーク」が導入されます。家庭学習や学習の評価に活用していきます。
- ・端末の不具合で使用できない場合、学校の端末を貸し出します。
- ・ICTの活用に関する職員研修を充実させ、学級によって使用頻度に差が生じないようにします。

評 AIドリルを活用することで、児童の学力の定着への影響はないか。書字については手書きとタブレットの入力で脳の使われ方が全く違う。鉛筆を握る筆圧を感じながら手を動かす、書き順を見る、発音する、意味を確かめることで定着していく。

- ➡・AIドリルにも手書き入力機能があります。AI教材に加え、通常のノートを活用することで、書字や計算等の定着を図ります。
 - ・習志野市全体として、令和8年度はAIドリルに加え、以下の学年で従来の紙のドリルを併用する方針です。
 - 漢字ドリル（1～2年） ○ひらがな・カタカナ練習帳（1年）
 - ローマ字練習帳（3年） ○国語・算数・理科・社会のテスト（1～3年）
- ※詳細は3月23日付でtetoru配信した、習志野市教育委員会からの通知を御参照ください。

評 タブレット端末を家庭学習で活用することに伴い、放課後子供教室でもタブレット端末を使用してもよいようにルール変更を検討している。破損やタッチペンの紛失等がないように、学校でもタブレット端末を大切に使用するよう声掛けしてほしい。

4 その他学校教育全般について

保 水泳学習について

冬にかけてプールの授業を行うことに反対です。プールの授業のあと長い時間髪が濡れたまま過ごすことになり風邪ひく原因になります。

考 セントラルスイミングクラブの定休日である水曜日に、水泳学習を行っています。各学年3回ずつ（3年生は着衣泳を含め4回）、年間19回の学習を行うため、2学期後半までかかることとなります。遅くとも11月までに水泳学習を行えるよう、計画的に進めてまいります。

5 終わりに

今年度も、保護者の方から様々な御意見をいただき、学校関係者の方から御意見を伺うことができました。お忙しい中、貴重な意見をいただくことができたことを感謝しております。いただいた意見全てに回答できたわけではありませんが、学校職員はいただいた全ての御意見に目を通し、テーマごとにブロック会を開催して、次年度の方向性を検討してまいりました。

本年度の学校教育を支えて下さった保護者、地域、関係各位の方々に感謝するとともに、次年度も子供たちの成長を支えられる学校でありたいと考えております。引き続き御支援・御鞭撻いただきますようお願いいたします。